



学校の概要

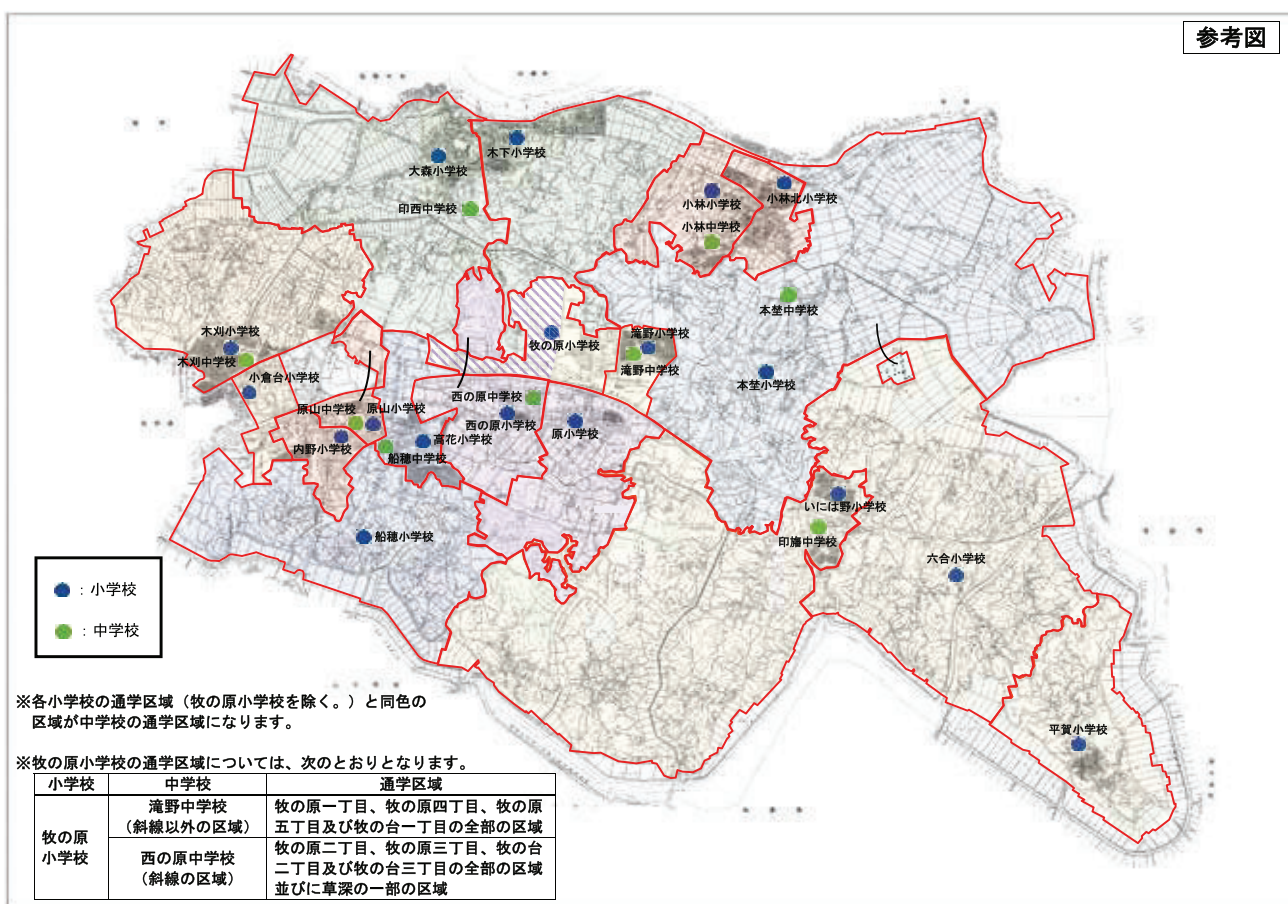


Ⅲ 学校の概要

1 沿革

基本方針策定時の平成28年度には、市内の小学校は21校、中学校は9校の計30校でしたが、その後、基本方針に基づく学校の適正な規模及び配置が進捗し、平成29年に永治小学校が木刈小学校に統合、平成31年に宗像小学校がいは野小学校に統合、本埜第一小学校と本埜第二小学校を統合し本埜小学校が開校したことから、令和5年度の学校数は、小学校18校、中学校9校の計27校となっています。

【小・中学校の位置図（通学区域図）（令和5年4月1日現在）】



2 小・中学校の通学区域

小学校区は大字を基本に複数の地域で構成しており、中学校区は小学校区を単位に1つから3つの小学校区で構成しています。

【小・中学校の通学区域（令和5年4月1日現在）】

中学校	小学校	通学区域
印西市立印西中学校	印西市立木下小学校	印西市竹袋、別所、宗甫、木下東一丁目、木下東二丁目、木下東三丁目、木下東四丁目、木下南一丁目及び木下南二丁目の全部の区域並びに木下及び平岡の各一部の区域
	印西市立大森小学校	印西市大森、鹿黒、亀成、浅間前、相嶋、鹿黒南一丁目、鹿黒南二丁目、鹿黒南三丁目、鹿黒南四丁目及び鹿黒南五丁目の全部の区域並びに発作、木下及び和泉の各一部の区域
印西市立船穂中学校	印西市立船穂小学校	印西市武西、戸神、船尾、松崎、松崎台一丁目、松崎台二丁目、結縁寺及びび多々羅田の全部の区域並びに草深の一部の区域
	印西市立高花小学校	印西市高花一丁目、高花二丁目、高花三丁目、高花四丁目、高花五丁目及び高花六丁目の全部の区域並びに草深の一部の区域
印西市立木刈中学校	印西市立木刈小学校	印西市木刈一丁目、木刈二丁目、木刈三丁目、木刈四丁目、木刈五丁目、木刈六丁目、木刈七丁目、牧の木戸一丁目、大塚三丁目、浦部、白幡、浦幡新田、小倉、浦部村新田及び高西新田の全部の区域並びに和泉及び発作の各一部の区域
	印西市立小倉台小学校	印西市小倉台一丁目、小倉台二丁目、小倉台三丁目、小倉台四丁目、武西学園台一丁目、武西学園台三丁目、戸神台二丁目、中央南二丁目（2番地を除く）、中央北一丁目、中央北二丁目及び中央北三丁目の全部の区域
印西市立小林中学校	印西市立小林小学校	印西市小林浅間一丁目、小林浅間二丁目、小林大門下一丁目、小林大門下二丁目及び小林大門下三丁目の全部の区域並びに小林及び平岡の各一部の区域
	印西市立小林北小学校	印西市小林北一丁目、小林北二丁目、小林北三丁目、小林北四丁目、小林北五丁目、小林北六丁目及び小林浅間三丁目の全部の区域並びに小林の一部の区域
印西市立原山中学校	印西市立内野小学校	印西市内野一丁目、内野二丁目、内野三丁目、戸神台一丁目及び中央南一丁目の全部の区域並びに中央南二丁目2番地の区域
	印西市立原山小学校	印西市原山一丁目、原山二丁目、原山三丁目及び泉の全部の区域並びに草深の一部の区域
印西市立西の原中学校	印西市立西の原小学校	印西市西の原一丁目、西の原二丁目、西の原三丁目及び西の原四丁目の全部の区域並びに草深の一部の区域
	印西市立原小学校	印西市原一丁目、原二丁目、原三丁目、原四丁目、東の原一丁目、東の原二丁目及び東の原三丁目の全部の区域並びに草深の一部の区域
	印西市立牧の原小学校	印西市牧の原二丁目、牧の原三丁目、牧の台二丁目及び牧の台三丁目の全部の区域並びに草深の一部の区域
印西市立印旛中学校	印西市立六合小学校	印西市瀬戸、山田、吉高、萩原及び松虫の全部の区域
	印西市立平賀小学校	印西市平賀、平賀学園台一丁目、平賀学園台二丁目及び平賀学園台三丁目の全部の区域
	印西市立いには野小学校	印西市美瀬一丁目、美瀬二丁目、舞姫一丁目、舞姫二丁目、舞姫三丁目、若萩一丁目、若萩二丁目、若萩三丁目、若萩四丁目、岩戸、師戸、鎌苺、大廻、造谷、吉田、つくりや台一丁目及びつくりや台二丁目の全部の区域並びに惣深新田飛地の一部の区域
印西市立本埜中学校	印西市立本埜小学校	印西市中根、荒野、角田、滝、物木、笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、立埜原、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林、みどり台一丁目、みどり台二丁目及びみどり台三丁目の全部の区域並びに竜腹寺及び惣深新田飛地の各一部の区域
印西市立滝野中学校	印西市立滝野小学校	印西市滝野一丁目、滝野二丁目、滝野三丁目、滝野四丁目、滝野五丁目、滝野六丁目、滝野七丁目及び牧の原六丁目の全部の区域並びに草深及び竜腹寺の各一部の区域
	印西市立牧の原小学校	印西市牧の原一丁目、牧の原四丁目、牧の原五丁目及び牧の台一丁目の全部の区域

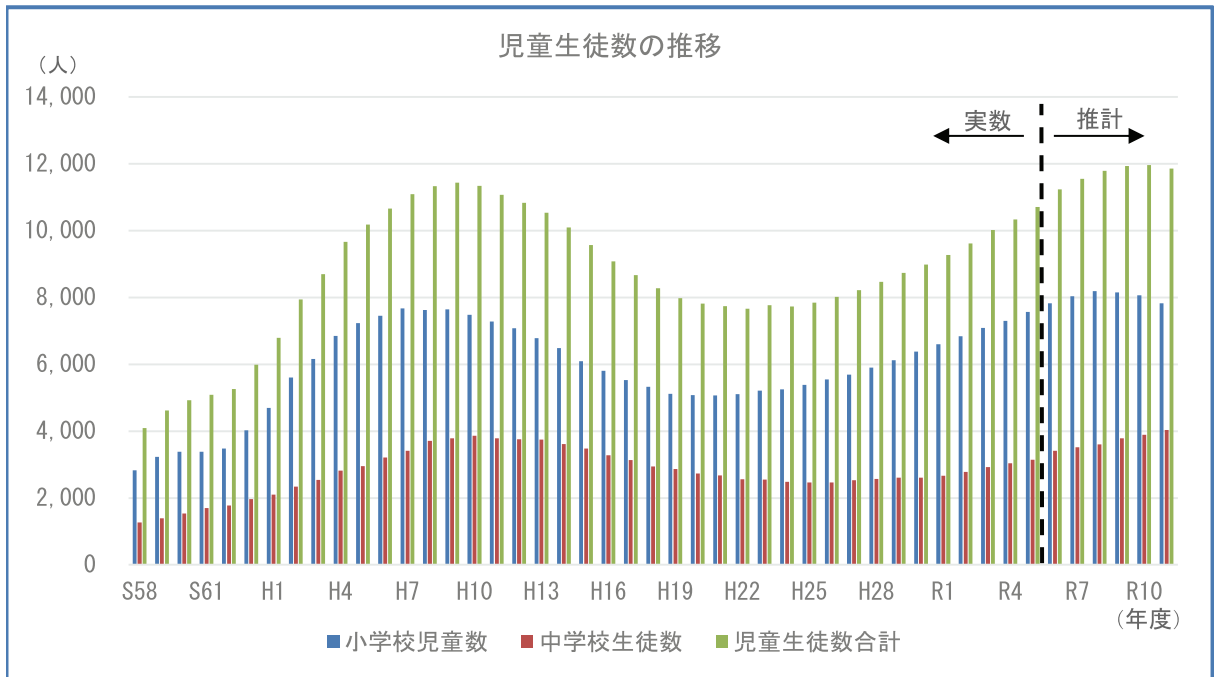


3 児童生徒数の推移

本市の児童生徒数は、昭和59年に始まる千葉ニュータウン中央駅圏への入居を契機に増加し、小学校で平成7年度、中学校で平成10年度を境に減少に転じています。

その後、小学校で平成21年度、中学校で平成25年度に下げ止まり、増加傾向に転じ、小学校では令和8年度にピークを迎えますが、中学校では今後も増加するものと予測されています。

なお、この児童生徒数の増加は、千葉ニュータウン内の一部の地域に限られ、その他の多くの小・中学校では小規模化が進んでいることから、学校規模の差は年々拡大しています。



※合併前は、旧印旛村及び旧本埜村の児童生徒数を合算している。

※令和6年度以降の児童生徒数は、住民基本台帳データ（令和5年4月1日現在）に基づき算出している。

ただし、宅地開発が予測される木刈中学校区（木刈小・小倉台小）、原山中学校区（内野小・原山小）、西の原中学校区（西の原小・原小・牧の原小）及び滝野中学校区（滝野小・牧の原小）については、令和5年度に実施した児童生徒数等推計業務委託による推計値を記載している。

なお、推計業務委託による推計は、小・中学校別、学年別に、1歳1年ごとの「コーホート変化率法（過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法）」を基本に、新規住宅開発による増加分を加味する方法で行っている。



4 小・中学校の児童生徒数及び学級数の現状

【小学校】 (令和5年5月1日現在)

学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		特別支援学級		児童数合計		実学級数			
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	通常	特別支援	合計	通常	特別支援	合計
木下小学校	26	1	37	2	26	1	36	2	34	1	47	2	8	2	206	8	214	9	2	11
大森小学校	27	1	25	1	24	1	21	1	34	1	30	1	12	2	161	12	173	6	2	8
船穂小学校	11	1	7	1	7	0.5	4	0.5	5	1	9	1	4	2	43	4	47	5	2	7
高花小学校	52	2	37	2	50	2	49	2	44	2	51	2	20	4	283	20	303	12	4	16
木刈小学校	76	3	77	3	95	3	79	3	87	3	106	3	14	2	520	14	534	18	2	20
小倉台小学校	166	5	176	6	195	6	171	5	190	5	191	5	43	7	1,089	43	1,132	32	7	39
小林小学校	52	2	44	2	51	2	44	2	35	1	33	1	16	3	259	16	275	10	3	13
小林北小学校	16	1	21	1	23	1	27	1	27	1	28	1	5	2	142	5	147	6	2	8
内野小学校	109	4	108	4	114	4	104	3	84	3	54	2	40	6	573	40	613	20	6	26
原山小学校	37	2	41	2	39	2	40	2	40	2	41	2	15	3	238	15	253	12	3	15
西の原小学校	124	4	97	3	113	4	94	3	91	3	84	3	40	6	603	40	643	20	6	26
原小学校	227	7	202	6	199	6	169	5	179	5	164	5	42	7	1,140	42	1,182	34	7	41
六合小学校	9	1	11	1	10	1	8	1	11	1	11	1	4	2	60	4	64	6	2	8
平賀小学校	10	1	17	1	12	1	9	1	17	1	17	1	4	2	82	4	86	6	2	8
いには野小学校	48	2	57	2	65	2	59	2	70	2	86	3	22	4	385	22	407	13	4	17
本埜小学校	10	1	11	1	10	1	13	1	16	1	12	1	5	2	72	5	77	6	2	8
滝野小学校	121	4	96	3	72	3	74	3	60	2	69	2	23	4	492	23	515	17	4	21
牧の原小学校	192	6	165	5	145	5	166	5	109	3	93	3	30	5	870	30	900	27	5	32
合計	1,313	48	1,229	46	1,250	45.5	1,167	42.5	1,133	38	1,126	39	347	65	7,218	347	7,565	259	65	324

※複式学級数は1学年当たり「0.5」として計算しています。

【中学校】 (令和5年5月1日現在)

学校名	1年生		2年生		3年生		特別支援学級		生徒数合計		実学級数			
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	通常	特別支援	合計	通常	特別支援	合計
印西中学校	72	2	72	2	81	3	15	3	225	15	240	7	3	10
船穂中学校	55	2	67	2	55	2	6	2	177	6	183	6	2	8
木刈中学校	280	8	257	7	262	7	19	3	799	19	818	22	3	25
小林中学校	62	2	62	2	47	2	11	2	171	11	182	6	2	8
原山中学校	93	3	78	3	88	3	19	3	259	19	278	9	3	12
西の原中学校	267	7	211	6	207	6	16	3	685	16	701	19	3	22
印旛中学校	97	3	108	3	107	3	16	3	312	16	328	9	3	12
本埜中学校	8	1	0	0	10	1	4	2	18	4	22	2	2	4
滝野中学校	126	4	131	4	122	4	9	2	379	9	388	12	2	14
合計	1,060	32	986	29	979	31	115	23	3,025	115	3,140	92	23	115



5 今後の小・中学校の児童生徒数及び学級数の推移

(令和5年5月1日現在)

【小学校】

保有教室数	令和5年度(現状)				令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度						
	通常学級		特別支援学級		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数					
	児童数	学級数	児童数	学級数																	
木下小	17	206	9	8	2	204	9	210	9	210	10	221	10	205	9	205	9				
木森小	16	161	6	12	2	166	6	177	6	177	6	198	7	216	8	230	9				
船越小	8	43	5	1	4	43	5	63	6	63	6	69	6	83	6	82	6				
高杉小	27	283	12	20	4	284	12	277	12	288	12	274	11	271	11	260	11				
木刈小	26	520	18	14	2	503	17	468	15	425	14	366	14	331	13	280	11				
小倉台小	45	1,089	32	43	7	1,196	37	1,135	36	1,143	36	1,143	34	1,040	33	1,006	32				
小林北小	18	259	10	12	3	272	11	283	12	277	12	264	12	257	12	238	11				
小林南小	17	142	6	5	2	135	6	108	6	108	6	98	6	93	6	87	6				
内野小	27	573	20	40	6	616	20	664	21	661	21	627	20	615	20	594	20				
原山小	26	238	12	15	3	216	10	202	9	182	8	170	7	158	6	137	6				
西の原小	27	603	20	40	6	721	23	723	24	713	23	687	23	678	22	642	20				
原小	46	1,140	34	42	7	1,290	39	1,415	45	1,533	48	1,597	49	1,664	50	1,678	50				
八合小	16	60	6	4	2	61	6	62	6	59	6	58	6	60	6	57	6				
平置小	13	82	6	4	2	78	6	69	6	69	6	66	6	64	6	51	6				
いには野小	20	385	13	22	4	359	12	331	12	317	12	295	12	262	11	249	10				
本基小	7	72	6	5	2	76	6	80	6	80	6	84	6	78	6	77	6				
瀬野小	21	492	17	23	4	553	19	618	21	652	22	677	22	646	22	600	21				
牧の原小	33	870	27	30	5	1,050	33	1,168	36	1,233	38	1,318	40	1,354	41	1,352	41				
合 計		7,218	259	1	347	65	7,823	277	1	8,032	290	0	8,151	292	0	8,068	288	0	7,825	281	0

【中学校】

保有教室数	令和5年度(現状)				令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度						
	通常学級		特別支援学級		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数					
	児童数	学級数	児童数	学級数																	
印西中	20	225	7	15	3	221	7	217	7	202	7	175	6	169	6	165	6				
船越中	11	177	6	6	2	182	6	164	6	162	6	159	6	154	6	164	6				
木刈中	32	799	22	19	3	945	27	952	27	924	27	929	27	893	25	859	25				
小森中	15	171	6	11	2	185	6	185	6	194	6	207	6	210	6	207	6				
原山中	21	259	9	19	3	301	9	317	10	347	11	404	13	423	12	423	12				
西の原中	28	685	19	33	5	850	25	916	27	947	27	1,056	30	1,139	33	1,264	36				
印藤中	19	312	9	16	3	319	10	309	9	288	9	261	8	248	8	239	8				
本基中	8	18	2	4	2	20	2	36	3	41	3	39	3	34	3	31	3				
瀬野中	25	379	12	9	2	392	12	420	13	497	15	553	17	621	19	678	20				
合 計		3,025	92	0	115	23	3,415	104	0	3,602	112	0	3,783	117	0	3,891	118	0	4,030	122	0

【合計】

保有教室数	令和5年度(現状)				令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度					
	通常学級		特別支援学級		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数				
	児童数	学級数	児童数	学級数																
小学校	7,218	259	1	347	65	7,823	277	1	8,032	290	0	8,151	292	0	8,068	288	0	7,825	281	0
中学校	3,025	92	0	115	23	3,415	104	0	3,602	112	0	3,783	117	0	3,891	118	0	4,030	122	0
合 計	10,243	351	1	462	88	11,238	381	1	11,548	398	0	11,934	409	0	11,959	406	0	11,855	403	0

【注意事項】

- (1) 令和6年度以降は、特別支援学級の児童生徒数がわからないため、全ての児童生徒を通常学級とみなして推計している。
- (2) 学級数は、令和5年度千葉県立小中学校学級編制基準による学級編制の弾力的な運用に基づき算出している。
- (3) なお、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部改正に伴い、令和5年度は小学4年生までを、令和6年度は小学5年生までを、令和7年度以降は小学校の全学年を35人学級として算出している。
- (4) 令和6年度以降は、住民基本台帳データ（令和5年4月1日現在）に基づき算出している。
- (5) ただし、宅地開発が予測される木刈中学校区（木刈小・小倉台小）、原山中学校区（内野小・原山小）、西の原中学校区（西の原小・原小・牧の原小）及び瀬野中学校区（瀬野小・牧の原小）については、令和5年度に実施した児童生徒数等推計業務委員会による推計値を記載している。
- (6) 推計は学区外就学、私立学校等への就学を考慮したものでない。



6 住宅開発による影響

人口の増加の要因となっていた千葉ニュータウン事業が平成25年度に終了し、今後は宅地開発も減少していくことから、本市においても令和10年をピークとして人口減少の局面に入ると予測されていますが、地理的な利便性や千葉ニュータウン地域の強固な地盤と質の高い都市基盤を背景に、千葉ニュータウン中央駅及び印西牧の原駅周辺地区の集中的な開発に伴い、毎年新たに子育て世代の流入が拡大していることから、小学校及び中学校の学校規模の差が一段と広がっています。

7 学校施設の状況

印西市学校施設長寿命化計画において対象とする学校施設では、千葉ニュータウン地域内の学校は、築30年以上の建物が全体の29%と比較的新しい建物が多くなっていますが、千葉ニュータウン地域外の学校は、築30年以上の建物が全体の48%と古い建物が多くなっています。印西市公共施設等総合管理計画（改訂）に基づく試算では、学校施設の充当可能見込み財源で維持できる学校数は24校程度であり、今後、施設の老朽化が進む中で、現在の学校数、学校施設を維持することが、財政上厳しい状況にあります。

■ 充当可能見込み財源と公共施設の更新等費用の関係

$$25.7 \text{ 億円}^{\ast 1} - 28.8 \text{ 億円} (16.8 \text{ 億}^{\ast 2} + 12 \text{ 億円}^{\ast 3}) = \blacktriangle 3.1 \text{ 億円}$$

※1：1年当たりの充当可能見込み財源【印西市公共施設等総合管理計画（改訂）】

（今後の「1年当たりの更新等費用」の比率で按分すると、1年当たりの充当可能見込み財源は、学校施設が約15億円（58.3%）、その他の公共施設が約10.7億円（41.7%）となる。）

※2：1年当たりの更新等費用（学校施設）【印西市公共施設等総合管理計画（改訂）】

※3：1年当たりの更新等費用（その他の公共施設）【印西市公共施設等総合管理計画（改訂）】

■ 学校施設の充当可能見込み財源の中で維持できる学校数

● 1年間の更新等費用

$$16.8 \text{ 億円} - 0.1 \text{ 億円}^{\ast 4} \doteq 16.7 \text{ 億円}$$

● 30年間の更新等費用

$$16.7 \text{ 億円} \times 30 \text{ 年} \doteq 501 \text{ 億円}$$

● 1校当たりの更新等費用（30年間）

$$501 \text{ 億円} \div 27 \text{ 校} \doteq 18.6 \text{ 億円}$$

● 学校施設の充当可能見込み財源（30年間）の中で維持できる学校数

$$450 \text{ 億円}^{\ast 5} \div 18.6 \text{ 億円} \doteq 24.1 \text{ 校}$$

※4：もとの幼稚園の更新等費用：約4.6億円（30年間） \div 30年 \doteq 0.1億円

※5：15億円（1年当たりの学校施設の充当可能見込み財源） \times 30年 $=$ 450億円



8 部活動の状況

学校規模により、部活動の数は大きな偏りが生じているため、中学校進学の際にやりたい部活動が無いなど、子どもたちの希望に沿えない状況となっています。

特に本埜中学校は、生徒数、教員数が少ないことから、部活動が限られてしまうため、他の中学校への学区外就学をする生徒の割合が多くなっている状況です。

なお、令和2年度に文部科学省等によって方針が示された部活動の地域移行が実現した場合には、学校規模による部活動の影響はなくなります。

【中学校における部活動の状況（令和5年度）】

(単位：人)

	部活動名	部員数								
		印西中	船穂中	木刈中	小林中	原山中	西の原中	印旛中	本埜中	滝野中
1	陸上（男子）	17	21	44	17	32	42	22	2	6
	陸上（女子）	7	8	30	9	7	28	16		
2	野球	11	8	31		14	30	7	8	21
3	サッカー		22	42		8	48	22		18
4	バスケットボール(男子)	23	3	50			41	15		16
	バスケットボール(女子)	5	15	25		5	25	12		20
5	バレーボール（男子）	22						16		
	バレーボール（女子）	18		43	21	25	54	17		
6	卓球（男子）	18	15	35		24		20		
	卓球（女子）	8	17			15		12		
7	バドミントン（男子）				20		41			35
	バドミントン（女子）			47	12		48			27
8	硬式テニス（男子）				22					
	硬式テニス（女子）				12	25				
9	ソフトテニス（男子）			55						23
	ソフトテニス（女子）	11		38			41	12		30
10	柔道（男子）	15						8		
	柔道（女子）	5						6		
11	剣道（男子）			18	4	13	10	9		14
	剣道（女子）			12	2	2	11	1		4
12	美術（創作）	22	19	54	10	15	44	35	4	32
13	吹奏楽（音楽）	25	19	72	14	29	50	35		53
14	科学・生物			50		32	54	20	4	
15	英語劇（EAC）			19						
16	国語（書道）			34						
部活動数		9	7	14	7	11	11	12	4	9

